



たかやましポ



#公共交通の安心を守るために頑張っています！



6月17日(水)、公共交通活性化協議会が主催し、バス車両の換気能力実演が行われました。

この実演では、スモークを使用し、車内の換気能力を確認。真っ白でほとんど見渡せない状況が、5分程度でクリアな視界になり、高い換気能力を参加者全員で体感しました。

同協議会では、バスやタクシーなどの公共交通の利用者の安全と安心を確保するため、市の補助金を活用しながら、換気・除菌装置の導入や除菌おしぼりの配布、ポスターやステッカーによる啓発など新型コロナウイルス感染症予防対策に力を入れています。

#一位一刀彫を寄附



6月23日(火)、一位一刀彫の伝統工芸士である村上貞男むらかみさだおさんが、市に「飛騨牛に乗る笑福大黒様」の一位一刀彫を寄贈されました。

村上さんは、岐阜県知事表彰（卓越した技能者）を受けるなど高い技術を有するとともに、特に国外ではイタリア最高芸術勲章を授賞されるなど、飛騨一位一刀彫を世界に広げるべく、国際的な活躍をされています。

#「社会を明るくする運動」強調月間 総理大臣・県知事メッセージを伝達



7月の「社会を明るくする運動」強調月間を前にした6月19日(金)、高山保護区保護司会と高山地区更生保護女性会の会員の方が、市役所を訪問し、高山市長に総理大臣と県知事からのメッセージを伝達されました。

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行を防止し、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、明るい社会を築こうとする運動のことです。

地域の力で犯罪や非行を防止し、過ちからの立ち直りを支えられるよう、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

#戦没者追悼式がありました



6月30日(火)、戦没者追悼式が行われました。

例年は市民文化会館で約800人が参列されますが、今年は新型コロナウイルス感染症対策のため、市役所の会議室で遺族の代表者など18人での式となりました。

遺族会連合会の小林浩会長こばやしひろしは「苦難の事実を忘れてはならない。戦没者の尊い願いや、今日の社会の繁栄を、未来へ伝えていくことを約束します」と誓い、参列者全員で献花をされました。

式後には、「平和への絆の鉦かね」を打ち鳴らし、平和への願いが響き渡りました。